

報道関係者 各位

静岡県におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す

新型インフルエンザウイルスについて

静岡県から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ新型インフルエンザウイルスが分離され、薬剤感受性試験により薬剤耐性が確認されたとの報告がありましたので、その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

## オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を示す 新型インフルエンザウイルスについて

### (概要)

静岡県内において、新型インフルエンザ（インフルエンザA/H1N1）の感染が確認された患者（40代女性、12月1日死亡）から、オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性の新型インフルエンザウイルスが確認されましたので、その概要をお知らせします。

なお、厚生労働省によるとタミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異は、ウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

また、報道に際しては、個人情報の保護に十分配慮していただくようお願いいたします。

### 1 検査結果

#### (1) 遺伝子検査（静岡県環境衛生科学研究所実施 12月18日（金）判明）

オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を示す遺伝子変異を確認。

#### (2) 薬剤感受性試験（国立感染症研究所実施 12月25日（金）結果連絡）

オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性を確認。

ザナミビル（商品名：リレンザ）感受性を確認。

参考

〔耐性：薬剤に対して抵抗性を持ち、これらの薬剤が効きにくくなること。  
感受性：薬剤が有効に作用すること。〕

### 2 患者の概要

40代 女性 基礎疾患あり（死因との直接的な関連は認められていない。）

インフルエンザ肺炎で12月1日（火）死亡

### 3 経緯

11月15日（日）	発熱（体温不明）あり。
11月16日（月）	近くの医療機関を受診。 ・発熱（体温不明）あり、肺炎と診断。 ・インフルエンザ簡易検査を実施し、A（+）と判定。 ・タミフルと抗生物質を処方され帰宅。
11月18日（水）	17日（火）より咳が出始めたため、別の医療機関を紹介され、入院。 ・発熱（体温39.4度）あり。 ・インフルエンザ肺炎、成人呼吸窮迫症候群と診断。 ・タミフルを継続投与するとともに抗生物質等により治療。 ・呼吸補助装置を装着。

	・ PCR検査のための検体を採取。
11月19日(木)	PCR検査の結果、新型インフルエンザ(A/H1N1)陽性と判明。(静岡県環境衛生科学研究所) 呼吸状態悪化のため、気管挿管し人工呼吸管理を開始するが、次第に全身状態が悪化。
12月1日(火)	入院先の医療機関で死亡。

その後、この患者から周囲への感染拡大は認められていません。

#### 4 その他検査状況

現時点までに、静岡県環境衛生科学研究所において41検体の遺伝子解析を行った結果、タミフル耐性を示すマーカー(H275Y)が検出された新型インフルエンザウイルスが確認されたのは、今回が初めてです。

全国では28例目、県内では初めての検出例です。

本件は、平成21年10月8日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部 事務連絡「新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る今後のサーベイランス体制について(改訂版)」に基づき、新型インフルエンザウイルスの遺伝子解析等により、薬剤耐性を確認したことから、厚生労働省との連携のもと、公表を行うものです。